

# 企業景況調査報告書

(平成30年1~3月期)

## < 目次 >

質問1 調査の概要・結果概要	・・・・・・・・・・	1
質問2 (直面している経営上の問題点)	・・・・・・・・・・	2
質問3 (採用状況)	・・・・・・・・・・	3~4
質問4 (意見等自由記載欄)	・・・・・・・・・・	5
DI集計結果・分布	・・・・・・・・・・	6~8
調査票様式	・・・・・・・・・・	9~10

倉吉商工会議所

倉吉市明治町 1037-11

TEL 0858-22-2191

FAX 0858-22-2193

Email [cci3103@kurayoshi-cci.or.jp](mailto:cci3103@kurayoshi-cci.or.jp)

# 倉吉商工会議所企業景況調査報告書（平成30年1～3月）

## 調査対象企業

倉吉市内の商工会議所会員企業 100社

（建設業21社、製造業19社、卸売業11社、小売業22社、サービス業21社、その他6社）

## 調査方法

各事業所を職員が訪問し、FAXにて返信依頼。必要に応じて訪問回収。

## 調査時期

平成30年4月上旬

## 回収状況

96社（回収率96%） ※前回（10～12月）91社

（建設業21社、製造業19社、卸売業11社、小売業21社、サービス業18社、その他6社）

## <今期の状況>（6ページ表参照）

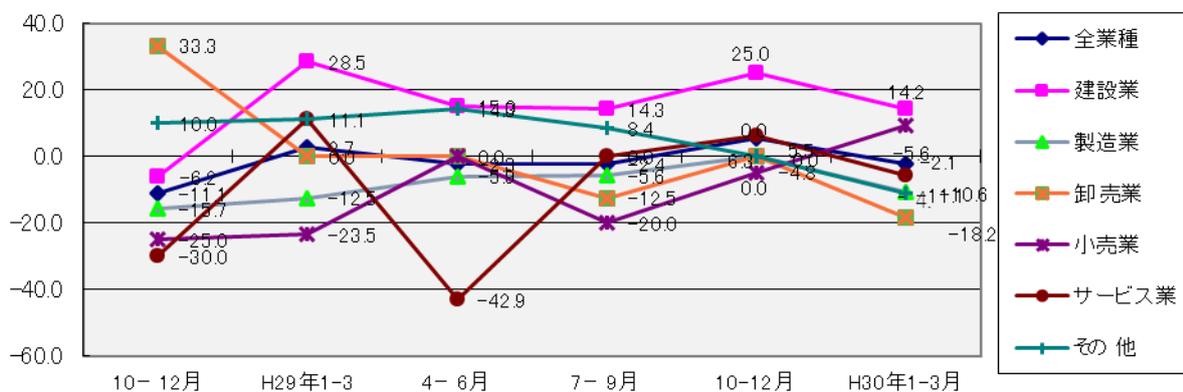
今期の全業種の業況DIは、前年同期比で前期の5.5から下降し、▲2.1となった。業種別に見ると、建設業・製造業・卸売業・サービス業・その他の業種で下降しており、それぞれ建設業は14.2（前期25.0）、製造業は▲10.6（前期0.0）、卸売業は▲18.2（前期0.0）、サービス業は▲5.6（前期6.3）、その他の業種は▲11.1（前期0.0）と下降している。一方、小売業では上昇しており、9.5（前期▲4.8）という状況である。

## <来期の見通し>（6ページ表参照）

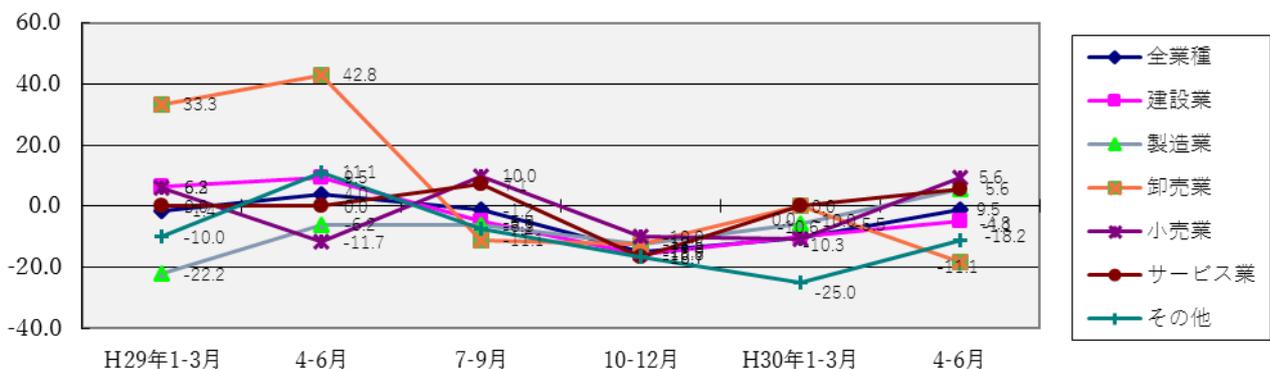
来期の見通し（平成30年4～6月）では、全業種のDI値は前期の▲10.3から上昇し、▲1.1となった。業種別に見ると建設業では▲4.8（前期▲10.0）、製造業は5.6（前期▲5.5）、小売業は9.5（前期▲10.6）、サービス業は5.6（前期0.0）、その他の業種は▲11.1（前期▲25.0）と5業種で上昇する見通しとなった。一方、卸売業は▲18.2（前期0.0）と下降する見通しとなった。今期の状況と合わせてみると、小売業は比較的業況は上昇傾向にあるが、卸売業は競争激化や利益率の低下など厳しい状況が続く見通しである。

<業況判断DIの推移> ※今期のDI値集計結果についてはP5をご参照下さい。

### (1) 今期の状況 <業種別>



### (2) 来期の見通し<業種別>



## ※DI値

売上・採算・業況などの各項目についての、判断の状況を表します。ゼロを基準として、プラスの値で景気の上向き傾向を表す回答の割合が多いことを示し、マイナスの値で景気の下向き傾向を表す回答の割合が多いことを示します。

したがって、売上高などの実数値の上昇率を示すものではなく、**強気・弱気などの景気感の相対的な広がり**を意味するものです。DI=(増加・好転などの回答割合)-(減少・悪化などの回答割合)

質問2 直面している経営上の問題点（上位3点を回答）

- 01 競争激化 02 消費・需要の停滞 03 売上・受注減少 04 売上・受注単価低下  
 05 原材料・仕入価格上昇 06 原材料・在庫不足 07 原材料・在庫過剰  
 08 店舗・生産設備不足・老朽化 09 店舗・生産設備過剰 10 経費の増加 11 人手不足  
 12 人手過剰 13 利益率低下 14 代金回収難 15 資金繰り難 16 新分野進出  
 17 その他:具体的に( )

〔上位項目〕

※ ( ) 内は件数

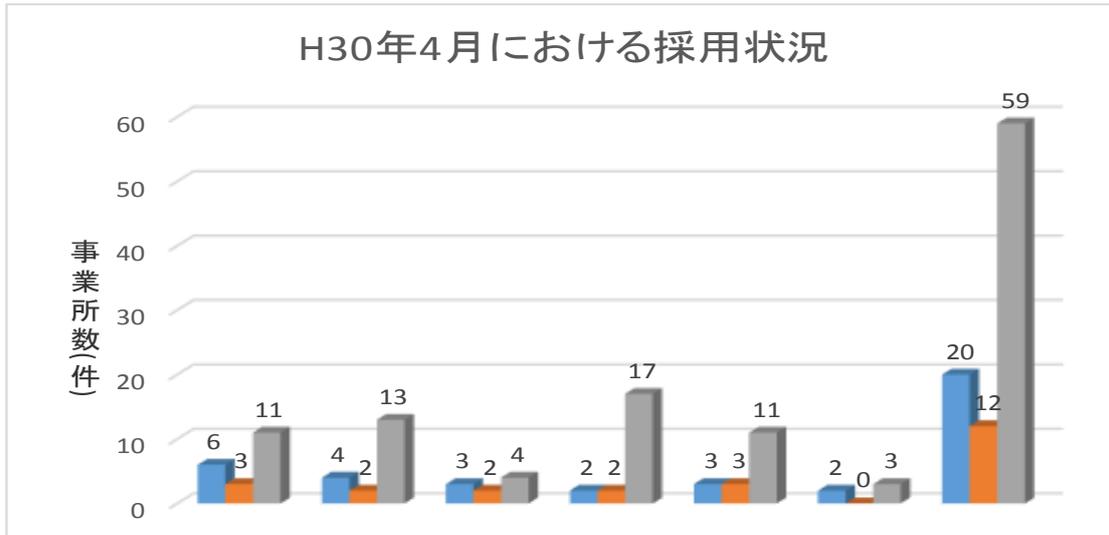
分類		1 位	2 位	3 位
全業種	当 期	売上・受注減少 (38)	競争激化 (37)	人手不足 (34)
	前 期	人手不足 (36)	競争激化 (34)	原材料・仕入価格上昇 (30)
建設業	当 期	人手不足 (10)	売上・受注減少 (8) 利益率低下 (8)	競争激化 (7) 原材料・仕入価格上昇 (7)
	前 期	人手不足 (11)	原材料・仕入価格上昇 (7) 経費の増加 (7) 利益率低下 (7)	競争激化 (4) 新分野進出 (4)
製造業	当 期	原材料・仕入価格上昇 (9)	売上・受注減少 (7) 店舗・生産設備不足・老朽化 (7) 人手不足 (7)	競争激化 (6) 経費の増加 (6)
	前 期	店舗・生産設備不足・老朽化 (7) 人手不足 (7) 利益率低下 (7)	消費・需要の停滞 (6) 原材料・仕入価格上昇 (6)	売上・受注減少 (5) 経費の増加 (5)
卸売業	当 期	競争激化 (5) 原材料・仕入価格上昇 (5) 利益率低下 (5)	売上・受注減少 (4) 経費の増加 (4)	人手不足 (3)
	前 期	競争激化 (7)	原材料・仕入価格上昇 (4)	売上・受注減少 (3) 経費の増加 (3) 人手不足 (3)
小売業	当 期	消費・需要の停滞 (13)	売上・受注減少 (11)	競争激化 (9)
	前 期	競争激化 (12)	消費・需要の停滞 (9)	売上・受注減少 (6)
サービス業	当 期	競争激化 (8) 人手不足 (8)	利益率低下 (6)	経費の増加 (5)
	前 期	競争激化 (7) 消費・需要の停滞 (7) 原材料・仕入価格上昇 (7) 人手不足 (7)	売上・受注減少 (3) 店舗・生産設備不足・老朽化 (3) 経費の増加 (3) 利益率低下 (3)	資金繰り難 (2)
その他	当 期	売上・受注減少 (6)	消費・需要の停滞 (3)	競争激化 (2) 新分野進出 (2)
	前 期	人手不足 (3)	競争激化 (2) 消費・需要の停滞 (2) 売上・受注減少 (2) 原材料・仕入価格上昇 (2) 経費の増加 (2) 新分野進出 (2)	利益率低下 (1) 代金回収難 (1) 資金繰り難 (1)

17. その他の課題

※大手メーカーが小売店にランクをつけて今迄通りの仕入れが出来なくなっている（小売業）  
 商品開発力不足、熟練者の不足（サービス業）

質問3 平成30年4月における従業員の採用について

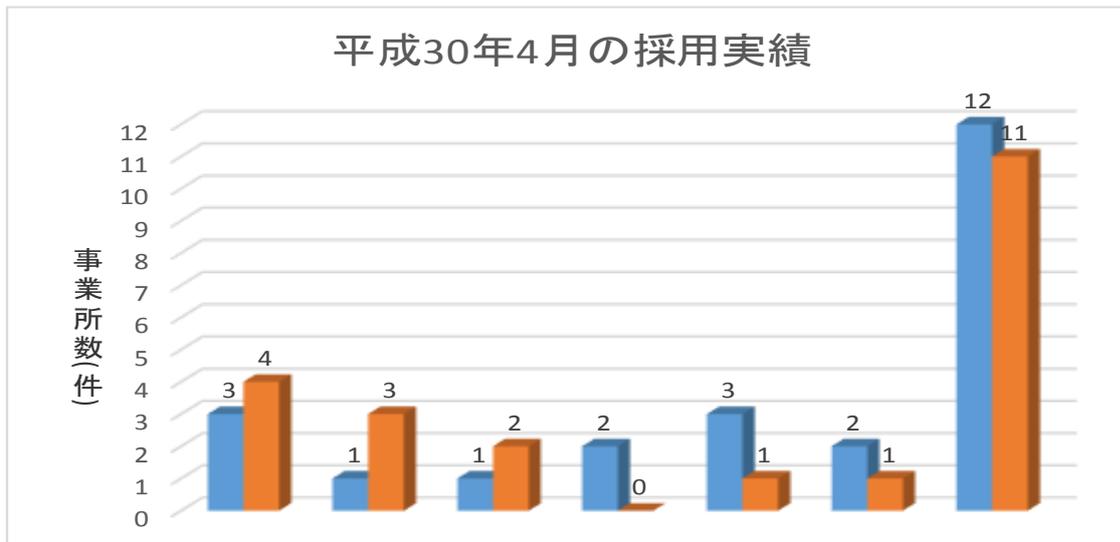
・採用の実施について



	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	その他	全体
採用できた	30%	21%	33%	10%	18%	40%	22%
採用できなかった	15%	11%	22%	10%	18%	0%	13%
実施していない	11%	68%	44%	81%	65%	60%	65%

平成30年4月における採用状況については、「採用できた」が22%、「採用できなかった」が13%、「実施していない」が65%となった。

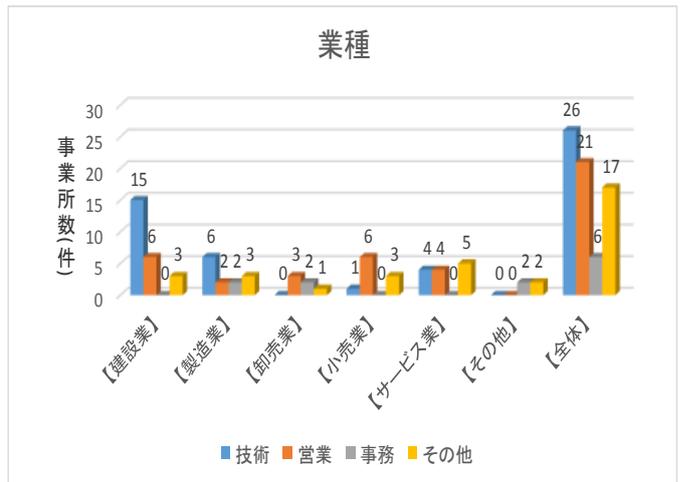
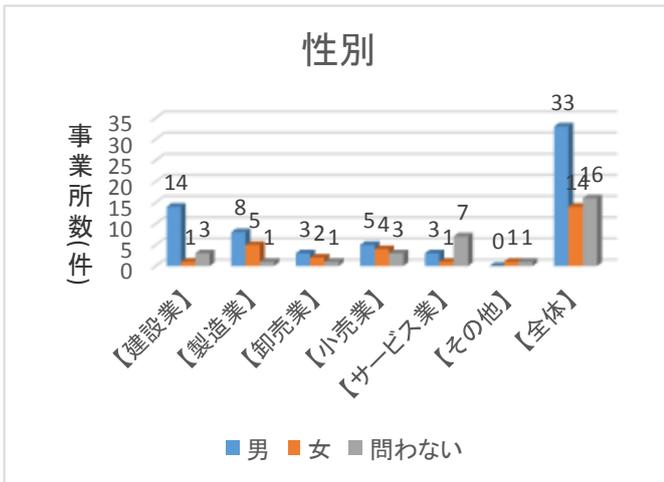
「採用できた」と「採用できなかった」に大きな差は見られず、又採用できた企業の中にも、計画していた人数どおり採用できた企業もあれば、計画していた人数に満たない企業もあった。ほとんどの業種で人手不足が懸念される一方で、募集をかけてもなかなか人が集まらないため、将来に不安を感じている事業所が少なくないことが覗える。



	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業	その他	全体
新卒	43%	25%	33%	100%	75%	67%	52%
中途	57%	75%	67%	0%	25%	33%	48%

また、「採用できた」と回答した事業所のうち、新卒採用をした事業所は52%、中途採用をした事業所は48%であった。中には新卒・中途の両方を採用した事業所もあり、年代に関わらず広く受け入れようという体制が覗える。ただ、建設・製造など専門的な資格等が必要とされる業種については、中途採用のほうが若干多い結果となった。

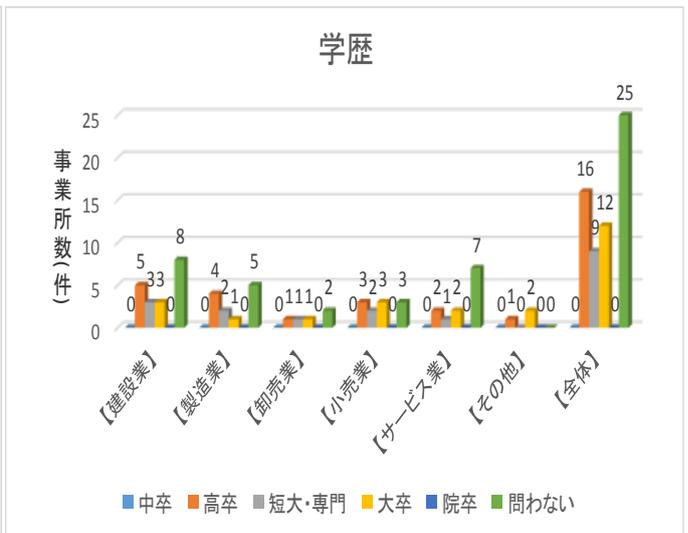
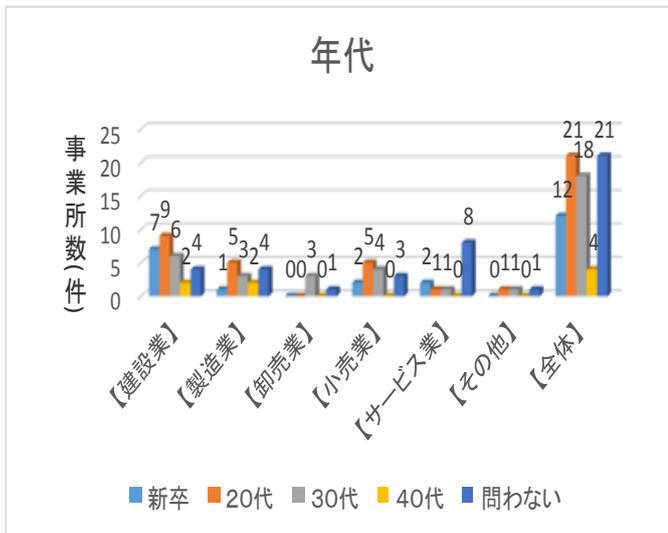
・必要としている人材について



必要としている人材について、性別に関して「男」と回答した事業所は52%、「女」が22%、「問わない」が25%であった。全体的に男性を求める傾向があり、とくに建設業ではその傾向が顕著に見られた。

業種に関しては、「技術系」が37%、「営業系」が30%、「事務系」が9%、「その他」が24%であった。「その他」の回答には、接客や販売、現場作業、清掃員等があった。又、ウェブ系に特化した人材が欲しいという回答もいくつかあった。

全体で見ると技術系を求める傾向が高いが、卸売業・小売業等では営業系・事務系が多いことから、やはり業種に合った人材を求める結果となった。



年代別に見てみると、「20代」と「問わない」という回答が最も多く28%、次いで「30代」が24%、「新卒」が16%、そして「40代」が最も少なく5%であった。業種別にみると、建設業・製造業・卸売業・小売業の4つの業種で20～30代という回答が最も多かった。

学歴に関しては、「問わない」という回答が最も多く40%、次いで「高卒」が26%、「大卒」が19%、「短大・専門」が15%、「中卒」と「院卒」は0%であった。その他の業種を除くすべての業種で「問わない」という回答が最も多く、採用の際の学歴の優先順位は比較的低い傾向にあると見える。

#### 質問4 現在の景況感、経営上の問題点についての意見又、行政等への要望について

##### 【建設業】

- ・震災の復旧工事、耐震補強の工事も一段落したと見る。今後は2020年の東京オリンピックの特需があるが、東京に仕事が一極集中し、地方の仕事が減ってくるものと予想される。普段でも人手不足であるのに、増々そのことで地方は閉塞感が高まり、景気が悪化すると思う。今後人手を確保するために昇給はやむを得ないとすると、経営は苦しくなる。建設業の抜本的な働き方改革が求められる。

##### 【製造業】

- ・運賃(宅配・商業荷物)の値上げの実施及び要請があり、又原材料の値上げの実施及び要請もあり、苦慮している。出そろった時点で製品の形態変更及び値上げの検討をしなければと考えている。売上の減少につながらないかと心配しているが、利益の低下はさげなければならない。
- ・少子高齢化、人口流出にて人手不足のところ、更に誘致企業の乱立にて人員の確保が難しい状況です。今後は更に厳しくなり人手不足倒産が多発すると予想します。
- ・先期は売上高が100%でしたが、今期は少し売上減少となり成績が良くありません。来期は気候が良くなり、業績も良くなればと願っています。
- ・県外業者との会話にて、人口の少なさが原因とされる消費の少なさ、仕事の少なさが感じられる。県外から仕事を取るには送料の問題があり簡単ではない。

##### 【卸売業】

- ・増税前の駆け込み需要・復興需要もあり、業界的には活況だが、当社には好影響は及んでいない。生産高の減少、高齢化により林業自体は衰退傾向である。
- ・安売り店舗ができて売上も上がらず、経費もかかり苦戦しています。

##### 【小売業】

- ・今年1月から景気状況は悪いと感じる。

##### 【サービス業】

- ・人口減による商圈の縮小
- ・インターネット、IT系に強い人材を確保したいが、なかなか経験者も少ない。地震からの復旧・修繕費用が予想以上に増加している。
- ・積雪の際、土蔵群内の雪かきは行われないので、毎年店の前から駐車場・その他お店周辺は協力して雪かきを行っていますが、とても大変です。雪かきがされてないことで観光客の方も来ることができない部分もあるのではないかと思います。家等の関係で除雪車が入ってこれない等、雪かきが難しい理由は理解できるのですが、家庭用の除雪機の貸出など観光地として何か良い案があると助かります。
- ・鳥取県発注業務の応募要件となっている有資格者が高齢化している。高齢者に頼らざるを得ないが、頼り切っていると生産コストが上がって採算割れするケースも出てきている。近年、資格が多すぎることに原因があると思う。必要な資格のほとんどが民間資格で、国家公務員の退職後の天下り組織であると思われる。又、その政策は大手企業に有利になっている。政府の経済政策である金融政策は景気に対して有効であると思うが、財政出動もない状態ではデフレ脱却は難しいのではないかと思います。
- ・1、2月は雪や寒さの為飲食人口は下がりました。しかし、3月も売り上げは上がることはなく、地震以降の景気の悪さは続いているようです。

##### 【その他】

- ・消費の停滞及び購入形態等による売上の減少
- ・雇用のマッチング

D I 集 計( 前年同期比＝H30年1～3月期、来期の見通し＝H30年4～6月期)

【製造業・非製造業別】

	1. 売上高		2. 売上単価		3. 収益状況	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	4.2	-15.8	6.2	4.2	-12.5	-3.2
製造業	5.3	-5.3	10.5	15.8	-15.8	-10.5
非製造業	3.9	-18.4	5.2	1.3	-11.7	-1.4

	4. 資金繰り		5. 借入難度		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	3.1	3.2	11.6	6.3	5.4	14.1
製造業	5.3	10.5	10.5	11.1	5.6	23.5
非製造業	2.6	1.3	11.8	5.5	5.4	12.0

	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	-2.1	-1.1
製造業	-10.6	5.6
非製造業	0.0	-2.6

【業種別】

	1. 売上高		2. 売上単価		3. 収益状況	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	4.2	-15.8	6.2	4.2	-12.5	-3.2
建設業	28.6	-35.0	-9.5	0.0	4.8	0.0
製造業	5.3	-5.3	10.5	15.8	-15.8	-10.5
卸売業	0.0	-27.3	9.1	0.0	-27.3	-9.1
小売業	-4.7	0.0	9.5	0.0	-19.0	0.0
サービス業	-5.6	5.5	22.2	11.1	-11.1	16.6
その他	-16.7	-83.3	-16.6	-16.7	-16.7	-50.0
非製造業	3.9	-18.4	5.2	1.3	-11.7	-1.4

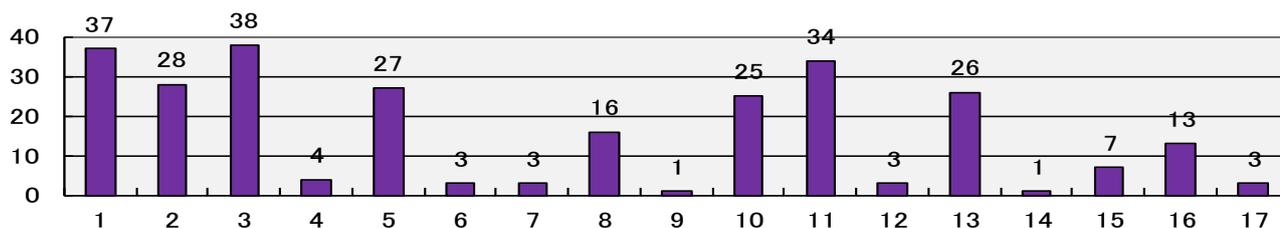
	4. 資金繰り		5. 借入難度		6. 雇用人員	
	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し	前年同期比	来期の見通し
全業種	3.1	3.2	11.6	6.3	5.4	14.1
建設業	9.5	0.0	14.3	10.0	5.0	19.0
製造業	5.3	10.5	10.5	11.1	5.6	23.5
卸売業	0.0	9.1	27.3	20.0	18.2	9.1
小売業	0.0	0.0	4.7	5.0	5.0	10.5
サービス業	11.1	5.5	5.6	0.0	11.1	5.5
その他	-33.3	-16.6	16.7	-16.6	-11.1	5.5
非製造業	2.6	1.3	11.8	5.5	5.4	12.0

	7. 業況判断	
	前年同期比	来期の見通し
全業種	-2.1	-1.1
建設業	14.2	-4.8
製造業	-10.6	5.6
卸売業	-18.2	-18.2
小売業	9.5	9.5
サービス業	-5.6	5.6
その他	-11.1	-11.1
非製造業	0.0	-2.6

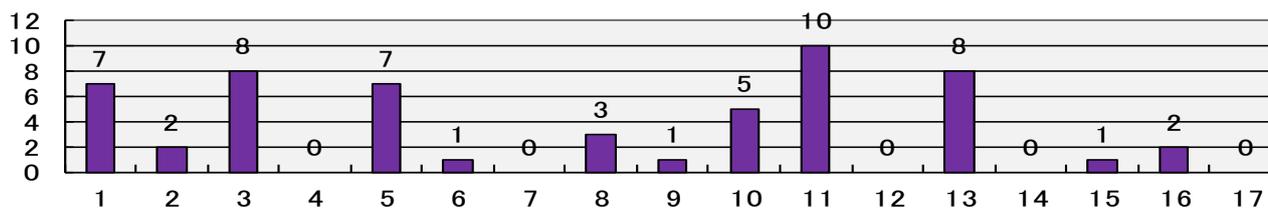
質問2 今期直面している経営上の問題点

- |                 |          |
|-----------------|----------|
| 1 競争激化          | 10 経費の増加 |
| 2 消費・需要の停滞      | 11 人手不足  |
| 3 売上・受注減少       | 12 人手過剰  |
| 4 売上・受注単価低下     | 13 利益率低下 |
| 5 原材料・仕入価格上昇    | 14 代金回収難 |
| 6 原材料・在庫不足      | 15 資金繰り難 |
| 7 原材料・在庫過剰      | 16 新分野進出 |
| 8 店舗・生産設備不足・老朽化 | 17 その他   |
| 9 店舗・生産設備過剰     |          |

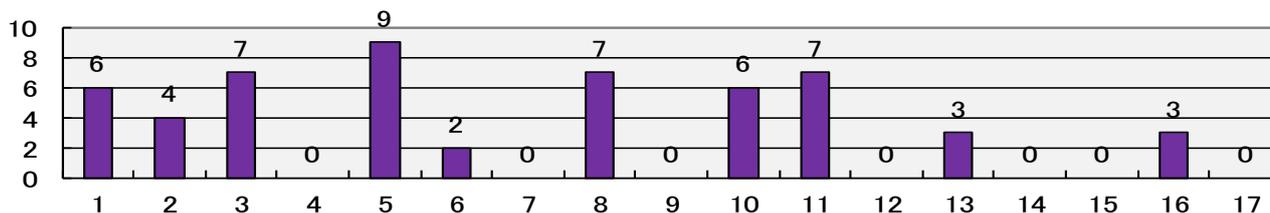
全業種(複数回答)



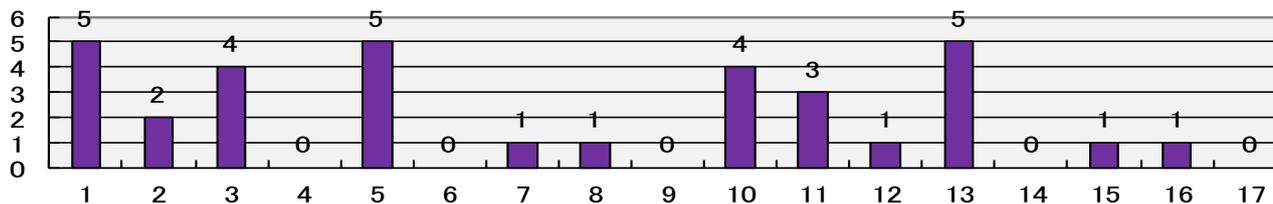
建設業(複数回答)



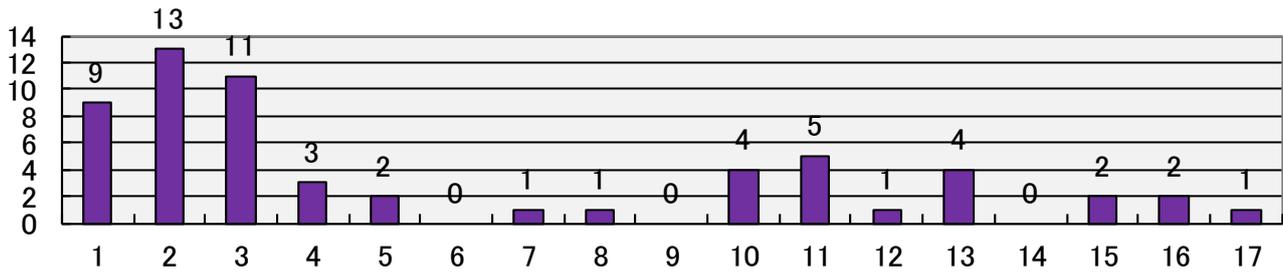
製造業(複数回答)



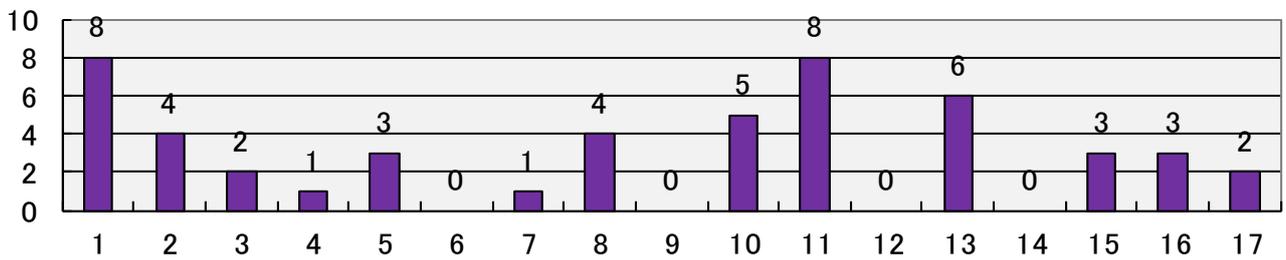
卸売業(複数回答)



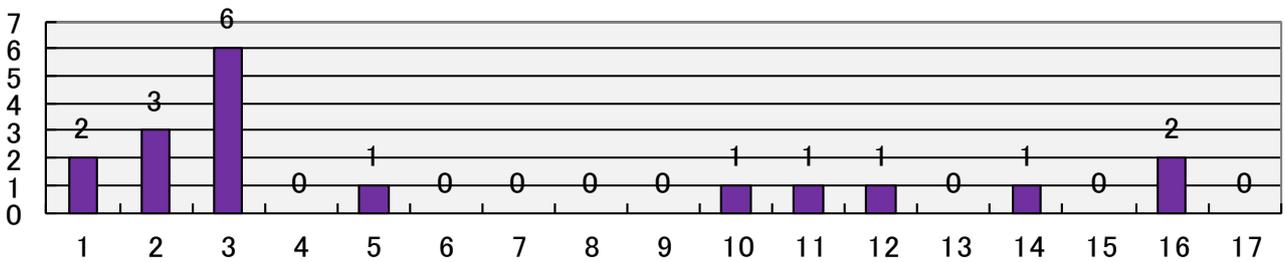
小売業(複数回答)



サービス業(複数回答)



その他(複数回答)



事業所名: \_\_\_\_\_ (お手数ですがご記入をお願いします。)

㊞

倉吉商工会議所企業景況調査票(平成30年1~3月期)

調査元: 倉吉商工会議所 TEL:22-2191

FAX:22-2193

【質問1】 前年同期と比較した今期(平成30年1~3月)の状況と、今期と比較した来期(平成30年4~6月)の見通しについて、最も近いものに○印をお付けください。

1) 売上高	(前年同期比)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
	(来期の見通し)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
2) 売上単価	(前年同期比)	1. 上昇	2. 不変	3. 低下
	(来期の見通し)	1. 上昇	2. 不変	3. 低下
3) 収益状況	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
4) 資金繰り	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
5) 借入難度	(前年同期比)	1. 容易	2. 不変	3. 困難
	(来期の見通し)	1. 容易	2. 不変	3. 困難
6) 雇用人員	現在の従業員数 _____ 人(うち正規雇用者 _____ 人)			
	(前年同期比)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
	(来期の見通し)	1. 増加	2. 不変	3. 減少
7) 貴社の業況	(前年同期比)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化
	(来期の見通し)	1. 好転	2. 不変	3. 悪化

【質問2】 今期直面している経営上の問題点について、重要度の高い順に該当する番号を回答欄へご記入ください。

- |                  |             |
|------------------|-------------|
| 01 競争激化          | 10 経費の増加    |
| 02 消費・需要の停滞      | 11 人手不足     |
| 03 売上・受注減少       | 12 人手過剰     |
| 04 売上・受注単価低下     | 13 利益率低下    |
| 05 原材料・仕入価格上昇    | 14 代金回収難    |
| 06 原材料・在庫不足      | 15 資金繰り難    |
| 07 原材料・在庫過剰      | 16 新分野進出    |
| 08 店舗・生産設備不足・老朽化 | 17 その他:具体的に |
| 09 店舗・生産設備過剰     | ( )         |

回答欄

1位 \_\_\_\_\_

2位 \_\_\_\_\_

3位 \_\_\_\_\_

※2枚目に続く

**【質問3】 1. 貴社の平成30年4月における従業員の採用について（括弧に○を付してください。）**

- ①（ ） 計画した人数どおりに採用できた（計画以上の採用も含む） → 2へお進みください。  
 ②（ ） 計画した人数は採用できなかった（採用活動継続中も含む） → 2、3へお進みください。  
 ③（ ） 採用活動は実施したが採用できなかった（採用活動継続中も含む） → 3へお進みください。  
 ④（ ） 今年度は採用を実施しなかった → 3へお進みください。

**2. 従業員採用状況について（該当する欄に記入してください。）**

	①大学卒以上	②短大・専門学校卒	③高校卒	④中途採用	⑤その他
平成30年4月の採用実績 (①～③は新卒)	男 人・女 人	男 人・女 人	男 人・女 人	男 人・女 人	男 人・女 人

**3. 必要としている人材について（該当する箇所に○を付してください。※複数可）**

性別	男（ 人）		女（ 人）		問わない（ 人）	
年代	新卒	20代	30代	40代	問わない	
学歴	中卒 ( 人)	高卒 ( 人)	短大 専門学校卒 ( 人)	大卒 ( 人)	院卒 ( 人)	問わない ( 人)
業種	技術系 ( 人)	営業系 ( 人)	事務系 ( 人)	その他（具体的に： 人）		
資格	※必須又はできれば必要とするもの					
実務経験（年数）	関連実務 年以上		それ以外 年以上			

**【質問4】 現在の景況感、経営上の問題点についての意見又、行政等への要望についてご記入ください。**

ご協力ありがとうございました。